

JA北つくば自己改革の取り組み

資料2－8



北つくば農業協同組合
代表理事組合長
吉川 君男

目次



自己改革

JA北つくばの現状について…………… P 3

農業者の所得増大に向けて……………P 4

販売力強化の取組

生産力強化とコスト低減の取組

生産力強化への取組

農業経営力向上への取組

農家経営支援の取組

地域の保全に向けて……………P17

農業経営の取組

次世代に向けて……………P20

子育て支援の取組

J A北つくばの現状について

主な事業量等	平成31年1月末現在
正組合員数	16,494人
准組合員数	7,073人
貯金	2,038億2,027万円
貸出金	350億2,124万円
有価証券（余裕金運用自主ルール:グループ2）	284億5,888万円
販売品取扱高（買取米を含む）	155億6,291万円
購買品供給高	52億9,021万円
長期共済(保障)保有高	6,435億5,398万円
任意積立金（信用事業10億円、営農経済事業10億円、事業再構築5億円、経営安定化7億円）	
理 事	35人(うち学識経験者3人 認定農業者24人)
監 事	6人(うち学識経験者1人 認定農業者 1人)
○JA子会社 4	燃料・葬祭・住宅ハウジング・アグリファーム

農業者の所得増大に向けて

買取米

販売力強化の取組①



- ・平成20年から計画生産に取り組む
- ・組合員メリット措置として実施

・平成30年産は集荷全体の91%に
※販売リスクに備え、営農経済事業積立金(積立額10億円)を造成

○流通経費

JA買取米

(平成20年産)1,333円⇒(平成29年産)1,189円

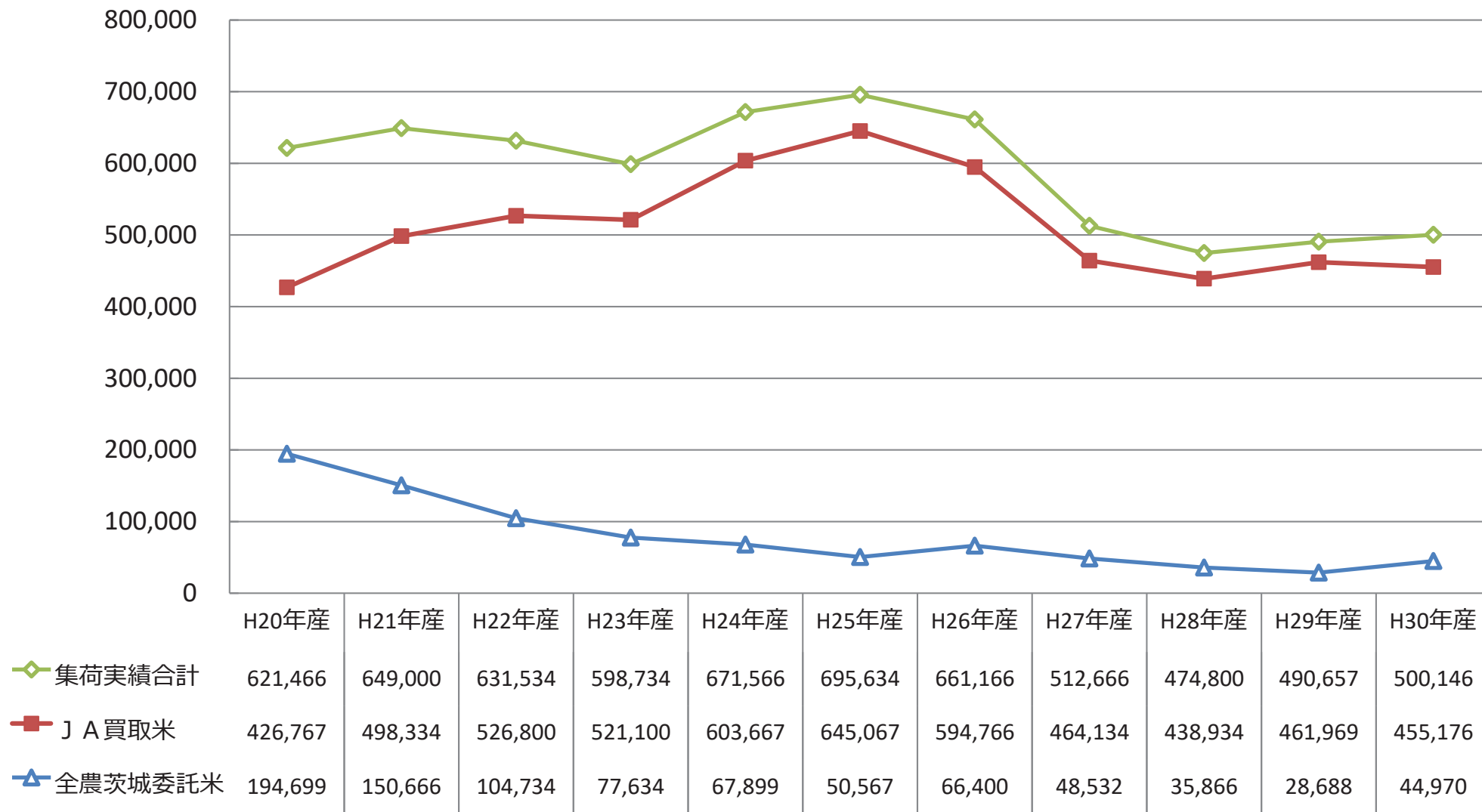
JA全農いばらき委託米

(平成20年産)1,734円⇒(平成29年産)1,233円

農業者の所得増大に向けて

(単位：袋)

JA買取米集荷実績（平成20年産～30年産）



農業者の所得増大に向けて

つくばSD2号

販売力強化の取組②

マーケットインに基づく

契約・買取販売拡大

・平成30年産米からの生産調整見直しを見据え、平成27年より成長する中食・外食向けに開発された水稻新品種「つくばSD2号」の生産開始

・コシヒカリに偏重した作付から脱却し、需要の安定が見込める品種への作付誘導・拡大

⇒ 平成30年産は170haに作付拡大



農業者の所得増大に向けて

輸出米

販売力強化の取組③



- ・JA全農と連携し、当JAで初となる取り組み
- ・県内では、最大規模となる462トンを輸出

- ・第1陣として、香港に向け平成30年産米
「あさひの夢」を20トン出荷

(※平成31年4月現在、合計100トンを輸出)

農業者の所得増大に向けて

農産物ブランド化 販売力強化の取組④

北つくばオリジナル商標



1. うつくしき(コシヒカリ)

2. 紅の誘惑(こだま西瓜)

3. 誘惑のひとみ(黒こだま西瓜)

4. ゆうきくん(レタス・キャベツ・白菜)



農業者の所得増大に向けて

新規作物の 普及拡大



販売力強化の取組⑤

- ・遊休施設を利用した新たに取りくめる冬期の作物として、ハウスレタスの作付けを推奨
- ・市場や実需者から1～2月の厳寒期に出荷される関東産レタスへの要望が高まる
- ・平成19年に「JA北つくば東部レタス部会」を設立、同時に包装機を導入し本格的な出荷を開始

●契約生姜 ●契約玉ネギ ●契約レタス

農業者の所得増大に向けて

直売所

販売力強化の取組⑥



・「きらいち」筑西店・結城店、および協和直売所の3カ所を運営

・結城店は平成28年12月に売場面積を拡張し、リニューアルオープン

平成30年度販売額 11億円

・インショップを6店舗展開

農業者の所得増大に向けて

集出荷場 選果場

販売力強化の取組⑦

選果場を利用した共選体制による品質の平準化と農家作業の省力化



平成27年選果機更新
結城トマト選果場



平成28年選果機更新
大和きゅうり選果場



平成30年選果機更新
東部トマト選果場

農業者の所得増大に向けて

専門業務 従事者



販売力強化の取組⑧

現在、専門業務従事者は10名

「営農指導・販売」のプロ（8名）

※生産部会、市場への対応を行う

買取米の販売を行う「米」のプロ（1名）

「経営指導」のプロ（1名）

○営農販売担当者の営農技術・販売に係る知識の高度化

○販売環境の変化と多様な消費者・実需者ニーズに対応で

きる人材育成

農業者の所得増大に向けて

生産資材 コスト低減

生産力強化とコスト低減の取組

1. 水稻一発肥料の購入数量に応じた、大口値引きの実施

購入数	25～ 49袋	50～ 99袋	100～ 149袋	150～ 199袋	200袋 以上
品 目 値引額	40円	60円	80円	100円	135円

平成30年度肥料大口値引額 計 26,606千円（840人）

2. 特定の肥料について、生産者の満車自己取りの実施

平成30年度値引額 計 11,830千円(27,500袋:32人)
※大口値引+100円引き

3. 各種農薬についても大口値引き実施

平成30年度値引額 計 3,331千円(416人)

価格引き下げを実施！

